

水源地域ビジョンの基本理念及び基本方針

● 基本理念

水清く緑萌え 心が通う猿ヶ石川

～ 田瀬ダム水源地域の活性化を目指して～

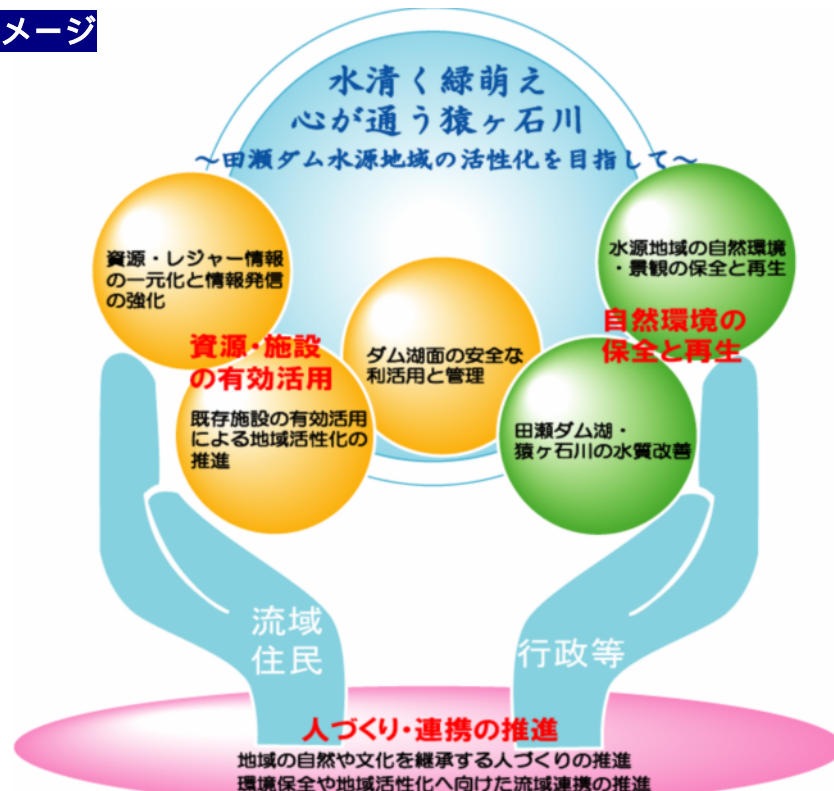
田瀬ダムは、昭和 29 年完成以来、治水・利水の両面において、猿ヶ石川や北上川下流域の住民に対し、安全で豊かな生活に貢献しており、また、田瀬湖周辺は、田瀬ダムレイクリゾート整備事業等により多様な施設が整備され、観光レクリエーション活動の拠点のひとつとなり、地域の活性化に寄与しています。田瀬ダムの水源地域にあたる旧東和町、旧宮守村、旧遠野市には、国指定文化財の毘沙門天立像等の史跡、神楽や鹿踊りなどの伝統芸能、オシラサマ等の民話など古くからの伝統や歴史が数多く残っています。

一方、田瀬ダム水源地域の自然環境は良好であるものの、アオコの発生などダム湖の水質悪化が顕在化してきており、ダム湖の水質保全対策だけでなく、適正な森林の維持管理や流域一体となった取り組みが必要となっています。

田瀬ダム水源地域ビジョンでは、

「水清く緑萌え 心が通う猿ヶ石川 ～ 田瀬ダム水源地域の活性化を目指して～」を基本理念(将来像)とし、水源地域の豊かな自然環境を保全・再生していくとともに、猿ヶ石川でつながる上下流の住民の方々が協力して、人づくり、地域の連携を基本とした自立的・持続的な活気のある地域の実現を目指します。

基本理念のイメージ



方針 1 自然環境の保全と再生

1) 水源地域の自然環境・景観の保全と再生

- ・ 水源涵養能力を保全・向上するための適切な森林の維持管理や、ダム湖周辺をはじめとする景観資源の保全、眺望地点の整備、地域住民の環境保全に対する意識の喚起や向上、ダム下流側の自然環境のモニタリングなど、水源地域が一体となり豊かな自然環境を守り、育むとともに自然環境・景観の再生を図るものとします。

2) 田瀬ダム湖・猿ヶ石川の水質改善

- ・ 猿ヶ石川流域において、下水道や浄化槽の設置・整備、家庭排水等における汚濁源の低減など流域対策を推進するとともに、ダム湖においても水質浄化対策を実施するなど、流域全体での連携した取り組みを推進します。

方針 2 資源・施設の有効活用

1) 既存施設の有効活用による地域活性化の推進

- ・ 既存施設のネットワーク化や新たな資源の発掘、田瀬湖など資源へのアクセス性の向上を図ることによる農村体験やグリーンツーリズムなど、自然環境や既存施設を有効活用し、地域の活性化を図るものとします。

2) 資源・レジャー情報の一元化と情報発信の強化

- ・ 情報の一元化の一環として、地域の歴史・文化を猿ヶ石川により結びつけ、特色ある流域文化の継承を図るとともに、これまで知られていない歴史・文化・伝統や資源の発掘を図り、既存資源と合わせ新たな地域個性の創造を目指すものとします。

3) ダム湖面の安全な利活用と管理

- ・ ダム湖水面を安全に活用していくためには、ダム本来の機能に支障をきたさないことを前提に周辺住民の生活環境への影響を考慮したうえで、湖面利用のすみ分けの方針を明確化するとともに、利用者に対し看板を設置するなど徹底周知を図るものとします。

方針 3 人づくり・連携の推進

1) 地域の自然や文化を継承する人づくりの推進

- ・ 市民団体や専門家、学校等の協力・連携により、地域住民の参加によるイベント開催や自然環境調査、環境教育等を実践し、人材の育成や次代を担う子どもたちへの教育を行っていくことで、地域の自然環境保全や歴史・文化の伝承、活気のある地域づくり等を目指すものとします。

2) 環境保全や地域活性化へ向けた流域連携の推進

- ・ 水源地域の環境保全や既存施設の活用、歴史・文化の創造・継承などの施策を継続して実施していくためには、水源地域や流域全体、流域外など広域的な協力・連携が必要であり、そのための連携組織の構築や、イベントの開催などを実践していくものとします。

田瀬ダム水源地域ビジョンの具体的施策

ビジョン具体的施策一覧表

ビジョン基本方針		ビジョンの具体的施策
自然環境の保全と再生	水源地域の自然環境・景観の保全と再生	地域住民と連携した多自然型川づくりの推進
		生態系へ影響を与える外来種の駆除
		緑や川の回廊等の整備による自然との触れ合いの場の創出
		地域住民や子どもたちの参加による野生動植物調査の実施
		ダム下流環境の継続的なモニタリングの実施
		地域の保全すべき自然や景観等を示すエコマップづくり
		森林の適正な維持管理
		森林ボランティアの育成
		地域の活性化や森林保全などの他の取り組みとの連携
		農林業の活性化と一体となった自然環境保全の取り組みの推進
	田瀬ダム湖・猿ヶ石川の 水質改善	曝気循環施設の導入
		地域住民との連携による炭や植物を活用した水質浄化
		家庭からの生活排水の低減
		広報やイベント等による水質改善へ向けた流域住民の意識の喚起
		下水道の整備や合併浄化槽の設置の推進
		畜産廃棄物（排水）の管理及び法令遵守の徹底
		施肥量の適正化
		土壌浄化法の導入検討
		水源地域内、流域内のゴミの清掃活動の推進
資源・施設の 有効活用	既存施設の有効活用による 地域活性化の推進	グリーンツーリズムニューの検討
		資源・施設を結ぶ交通ネットワークの形成
		四季を通じたダム湖周辺の活性化策の検討
	資源・レジャー情報の 一元化と情報発信の強化	ビジョンのホームページづくり
		水源地域や猿ヶ石川流域の資源（施設、歴史・文化等）の再発掘
		エリア間の情報交換会の開催
	ダム湖面の安全な利活用 と推進	エンジン付きボート、水上スキー、釣りなど水面利用の共存に向けた すみ分けの方針づくり、看板整備
		ボート利用を活かした地域の活性化
		まちづくりとしてのダム活用方策の検討
人づくり・連携の推進	地域の自然や文化を伝承 する人づくりの推進	郷土の誇り・偉人を学び・語るプログラムの創出
		猿ヶ石川・田瀬ダムを対象としたコンクールの開催
		流域の小中学生を対象とした「総合的な学習の時間」の活用プログラムの開発・実施
		地域の人づくりの一環としての地域生涯学習プログラムの策定
		自然環境保全に関する学習会等の開催
	環境保全や地域活性化等 へ向けた流域連携の推進	猿ヶ石川流域のイベントの連携による地域活性化の推進
		猿ヶ石川流域における地域通貨（猿ヶ石川通貨）の導入検討

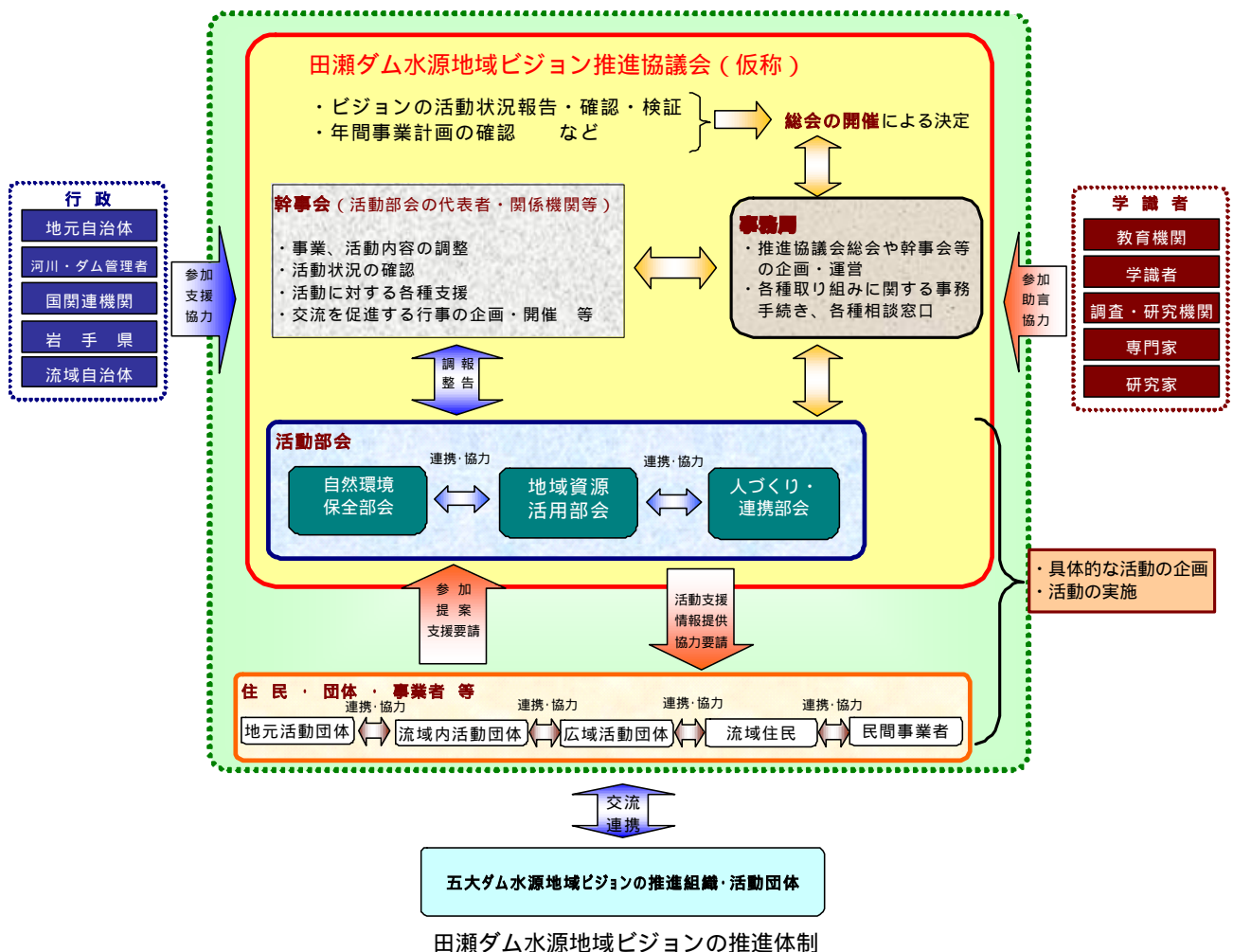
田瀬ダム水源地域ビジョンの推進体制

田瀬ダム水源地域ビジョンの着実な推進を図るためには、流域の住民の方々や活動団体等の個々の活動に加え、様々な関係者が一体となり、連携・協力することが必要不可欠です。

このため、本ビジョンの推進にあたっては、関係者間が役割を分担し、協力・連携してビジョンを推進していくための連携組織として、「**田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会**」(仮称)を構築することとします。

推進協議会は、水源地域の活動団体や地域住民の方々、関係行政機関(水源地域自治体・ダム管理者・流域自治体・関係機関)さらにはアドバイザーとして学識者も含め、ビジョン施策の着実な推進に向け協力・連携して取り組んでいきます。

田瀬ダム水源地域ビジョン推進のためのネットワーク



活動部会の役割

中心となりビジョンを推進していく「活動部会」を設置します。活動部会は、流域の活動団体や地域住民の方々、事業者、関係行政機関等により構成されます。

幹事会の役割

各活動部会の代表者(幹事)が一堂に会し活動内容の連絡・調整を行う「幹事会」を設置します。

事務局の役割

各種の取り組みが連携・協力し、円滑に運営されるよう「事務局」を設置します。事務局は、同組織内の調整や施策の推進に当たってのサポートを図り、各プロジェクトが円滑に推進できるような役割を担います。

田瀬ダム水源地域ビジョンの優先施策

田瀬ビジョンの施策のうち、優先的に取り組む施策として優先施策を選定しました。ただし、リーディング施策はビジョン策定委員会において決定したものであり、今後、ビジョンを推進していくに当たり、状況に応じて変更あるいは見直す可能性があります。

基本方針-1 自然環境の保全と再生

ビジョンの優先施策	施策の内容
生態系へ影響を与える外来種の駆除	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年6月より「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(外来生物法)が施行され、ブラックバスやブルーギル等の特定外来生物は飼養や栽培、保管、運搬は原則的に禁止となっています。 このため、豊かで多様性に富んだ田瀬湖や猿ヶ石川、水源地域の生態系の保全・再生を図るために、外来種の駆除を推進していきます。
地域の保全すべき自然や景観等を示すエコマップづくり	<ul style="list-style-type: none"> 専門家の支援や協力のもと、地域住民の方々が中心となり水源地域の自然や資源の調査を実施するとともに、保全すべき自然・景観や見所などが記載されたエコマップを作成します。
森林の適正な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 水源地域の森林は、治水や利水、環境面において重要な役割を果たしています。このため、水源涵養や地域の林業活性化を図るため、地域住民や下流在住の住民の方々、関係機関が協力して、間伐・枝打ち・植林など森林整備を推進するとともに、木材・間伐材の利用促進の方策について検討します。
曝気循環施設の導入	<ul style="list-style-type: none"> ダム湖の富栄養化を原因としたアオコの発生を抑制するため、ダム湖の表層の水と湖底の水を循環させる曝気循環施設を導入します。
広報やイベント等による水質改善へ向けた流域住民の意識の喚起	<ul style="list-style-type: none"> 水源地域ビジョンのホームページや広報誌等に田瀬湖や猿ヶ石川の現状の水質や生息する生物等の情報を掲載するとともに、清掃活動を流域一体で実施するクリーンアップイベント等を実施するなど、水質の改善に向け流域住民に対する意識の喚起・高揚を図ります。
水源地域内、流域内のゴミの清掃活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 流域内の活動団体や地域住民が協力・連携し、水源地域内や猿ヶ石川流域内の清掃活動を推進します。 また、ゴミの不法投棄が多い箇所等は特に注意看板を設置したり、定期的にパトロールを実施するなど、ゴミのない地域づくりを目指します。

基本方針-2 既存施設の有効活用

ビジョンの優先施策	施策の内容
グリーンツーリズムメニューの検討	<ul style="list-style-type: none"> 水源地域の豊かな自然環境や各種施設を複合的に体験できる「流域ならではのグリーンツーリズム」を開発します。 また、グリーンツーリズムの受け入れ体制の確立のための地元農家等との連携や運営体制として流域ボランティアや流域内で活動するNPOとの連携も図ります。
資源・施設を結ぶ交通ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> 既存の水源地域内の資源や施設を有効活用するため、これらの施設へ来訪者を導くための看板・サインの整備とともに、バスや電車など公共交通機関と連携した交通ネットワークの形成を図ります。また、既存の「遠野東和自転車道」の活用策についても検討していきます。
四季を通じたダム湖周辺の活性化策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ダム湖周辺では、田瀬湖あやめ祭りや湖水まつり等のイベントが開催されておりますが、冬季も含めたダム湖周辺の活性化を図るため、四季を通じた活性化策を地域住民の参加のもと検討し実施します。
ビジョンのホームページづくり	<ul style="list-style-type: none"> 水源地域、地域の施設や歴史・文化などを「知ってもらう」「学んでもらう」「活用してもらう」ために、水源地域ビジョンのホームページを作成し、水源地域の自然環境、施設概要、イベント情報など水源地域の情報発信を行っていきます。

基本方針-3 人づくり・連携の推進

ビジョンの優先施策	施策の内容
猿ヶ石川・田瀬ダムを対象としたコンクールの開催	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の水源地域に対する興味と探求心を育むため、猿ヶ石川、田瀬ダムを対象として、「標語コンクール」、「川の絵コンクール」、「川柳コンクール」など子ども達が参加できる各種コンクールの開催を関係機関との連携のもと実施していきます。
地域の人づくりの一環としての地域生涯学習プログラムの策定	<ul style="list-style-type: none"> 地域の大人達も地域の知らないこと・地域を学びたいこともあることから、地元自治体等で行われている生涯学習の場として、自然観察会の開催や、上下流の資源の発掘を行うことで、水質保全や自然環境保全、地域活性化等に関する啓発・教育を推進します。
猿ヶ石川流域のイベントの連携による地域活性化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 現在、猿ヶ石川流域では開催主体が異なった多くのイベントが各所で行われています。これらのイベントをカレンダーとして整理するとともに、実施場所を地図上に整理し、イベント間で相互連携を図り、集客力を高めることを目指します。

